

ユーザーズマニュアル

バージョン 1.0



プロジェクト・マネ<u>ージメント</u>

Glen Darcey

Theo Niessink

プロダクト・マネージメント

Glen Darcey

プログラミング

Adrien Courdavault	Pierre-Lin Laneyrie	Theo Niessink
デザイン		
Glen Darcey	Shaun Ellwood (decoderdesign.com)	Morgan Perrier
サウンド・デザイン		
Glen Darcey	Theo Niessink	Luca Torre
Stephane Schott		
マニュアル		

Randy Lee

2014 年 5 月 版

© ARTURIA S.A. – 1999-2014 – All rights reserved. 30, chemin du Vieux Chêne

38240 Meylan

FRANCE http://www.arturia.com

もくじ

もくじ	
プロジェクト・マネージメント	
もくじ	
1.1 エレクトリック・オルガン	
1.1.1 はじめに	
1.1.2 初めての電子オルガン: Telharmonium	
1.1.3 技術革新	
1.2 VOX Continental	
1.2.1 Jennings 社によって製造された Vox Continental	
1.2.2 クールなルックス	
1.2.3 名声を欲しいままにしたサウンド	
1.2.4 メンテナンス	
1.2.5 VOX が使用されているディスコグラフィーの例の例	
1.3 フィジカルモデリング・シンセシス	
1.3.1 音楽と数学	
1.3.2 難問	
1.3.3 終わりなき革命	10
2.1 Windows 7、 8 でのインストール	
2.2 Mac OS X でのインストール	
3.1 レジストレーション	
3.2 ライセンスのダウンロード	
3.3 ソフトウェアの起動	13
4.1 バーチャル・キーボードとペダル	14
4.2 ツールバー: 各機能と初期設定	14
4.2.1 オーディオと MIDI のセッティング	14
4.2.2 オルガンのカラー選択	15
4.3 プリセットの管理	
4.3.1 バンク、タイプ、プリセットの選択	16
4.3.2 修正したプリセットの保存	17
4.3.3 プリセットのバンクのインポート/エクスポート	17
4.4 より高度な機能	17
4.4.1 拡張モード	17
4.4.2 オープン・モード	20
4.4.3 ペダル	21
4.4.4 出力モード	21
4.4.5 スウェル・ペダル	22
4.4.6 FX スロット	22
4.4.7 パニック・ボタン	22

4.4.8 CCPU メーター	22
注: 単純に Vox Continental V による負荷を表示するだけであって、DAW や他のプラグインと『 使用してもそれらを積算することはありません。	司時に 23
4.4.9 ブローバル MIDI チャンネル	23
4.4.10 MIDI コントロールの設定	23
4.4.11 MIDI プリファレンス: PREF ボタン	25
4.4.12 MIDI モード・タブ	26
4.5 コントロールの週類	27
4.5.1 ツマミ	27
4.5.2 スイッチ	
4.6 エフェクト	
4.6.1 Flanger — フランジャー	
4.6.2 Phaser — フェイザー	
4.6.3 Chorus— コーラス	29
4.6.4 Delay — ディレイ	
4.6.5 Overdrive — オーバードライブ	
4.6.6 Wah— ワウ	31
4.6.7 Leslie speaker model— レスリースピーカー・モデリング	31
4.6.8 Guitar amp model— ギターアンプ・モデリング	32
エンドユーザー・ライセンス契約	

1 はじめに

1.1 エレクトリック・オルガン

1.1.1 はじめに

"オルガン"という楽器は多種多様で、いくつかの構造の違いや、電気によるものなど多くが挙げられま す。ギリシャ語の語源では、"*organon(原則)"という言葉です。そして文字通り*,それは"*1 台だけで作 品を作れる"という意味です。それは、*Johann Sebastian Bach よりさかのぼり、Joey DeFrancesco 以 降の幅広い世代のミュージシャンが同意するでしょう。オルガンは、これまでに生産されたあらゆる形 態の音楽の中心となっています。

オルガンの歴史には、多くの分岐があります。19世紀後半以前のトーン生成法は、パイプまたはリード に空気を通す方法が一般的であり、それは、常に1人またはそれ以上の人間の手によってエアフローが 提供されていました。ポンピングは、腕や、自分の足でペダルを押して風を送り込みます。または、 ハーモニカの部類に属するいくつかの装置に息を吐き出します。

これを、電気を使って行うアイデアを思いついた人がいたのです。 これまでプレーヤーは自分の心拍 数以上の音楽に集中することができませんでした。それが、音色の可能性がほぼ無限につながった技術 革新の範囲を開いたのです。オルガンは今もなおピッチと音色の両方で最も幅の広い多様性が可能な楽 器として君臨しています。それは人類に存在する、ほぼすべての音楽スタイルで使用されている理由な のかもしれません。

20 世紀に至るまでのオルガンの歴史については、他の場所でも多くの情報があります。ここでは、電子 オルガンの開発に焦点を当てて掘り下げていきます。

1.1.2 初めての電子オルガン:Telharmonium

人類初の電子オルガンは、1897 年に Thaddeus Cahill によって発明された Telharmonium で、その重量 は 200 トン近くになる巨大なものでした。



Thaddeus Cahill の Telharmonium コンソール(1897 年頃)

Telharmonium(通称「Dynamophone」)は、もともと現在のスピーカーの前身である「ペーパーコーン」に取り付けられた電気配線を通じて、人々の耳元へと届けられました。音楽は急成長していた電話システムを使って、ニューヨークの様々な場所へと送信されました! しかし、Telharmoniumからの 混信は時として電話の会話を妨害するので、そのアイデアは長続きしませんでした。

1906~1908 年の間には、コンサートホールにおいても数々の公演において好評を得ていました。 「建 設し、客が来る…」(Telharmonium には、気軽に持ち運べる携帯性がありませんでした。)

残念なことに、Telharmoniumの音色が収められた録音は存在しません。しかし、この魅惑的で画期的 な楽器に関する豊富な情報を含む多くのウェブサイトがあります。

1.1.3 技術革新

Telharmonium が、他の電動式オルガンと異なっていた点は、パイプ内、またはリードを通過させる空 気を吹き込むために電気を使用するのではなく、音を発生させる電気機械装置を使用していたことでし た。

これらのデバイスは、トーンホイールとして知られるようになり、後のハモンドオルガン社の伝説的な 楽器に採用される技術の前身でした。結果として得られるサウンドは、最終的にパイプオルガンやリー ドオルガンとは一線を画すものとなり、加算合成を使用することによってミュージシャンが楽器の音色 を作り出すことを可能にしました!私たちは、これらの技術革新の恩恵を大きく受けています。

トランジスタの出現により、トーン生成の新しい方式が確立され、携帯性と信頼性が向上しました。お よそ10年前に開発された周波数分割技術と組み合わせることで、電子(またはコンボ)オルガンは、 より手頃な価格になり、メンテナンスが容易になりました。例えば、数百あった個々の発振回路の調整 は、わずか12の回路の基本周波数を設定するだけとなりました。ピッチ及びその倍音の残りの部分は、 周波数分周器および位相ロックループ(PLL)周波数シンセサイザの併用を通して調整される仕組みに なりました。1つをチューニングすれば、それらをすべて(12回)が調整されるのです。

これらの発見は、おそらく最も人気と影響力のある"コンボ"オルガンシリーズ Vox Continental とその子 孫が生まれるきっかけとなったのです。

1.2 VOX Continental

1.2.1 Jennings 社によって製造された Vox Continental

Vox Continental は当初 Jennings Instruments (JMI)によって製造されました。JMI 社は、1950 年代にオ ルガンビジネスに参入しました。当初はアコーディオンの製造から始まり、その後、家庭や教会のオルガ ンの市場へと進出していきました。彼らが初めて開発した「持ち運びのできる」オルガンは、最初はピア ノ鍵盤の右側の下に金属クリップを用いて取り付けられるよう設計されていた、UniVox と呼ばれる楽器 でした。後には、セットアップ手順を合理化するために調整可能な、クロームメッキ仕上げのスタンドを 設計しました。 UniVoxのモデルには、音色作成のためのボタンがあり、真空管ベースのトーン生成器、および内蔵アン プとスピーカーを搭載していました。それらは、ややアコーディオンに似ていたが、「腕の力(アーム・ パワー)」で駆動できなかったため、固定位置に設置し、近くに AC 電源を必要としていました。

下の写真は、Univox の J10 と呼ばれるモデルです:



前身の J6 と同じように、J10 はモノフォニック仕様でした。しかし、J10 には利便性または魅力とも言え る、プリセットを選択するためのボタンが装備されていました。そして、1962 年の 12 月に発表され、ナ ンバー 1 ヒットを記録した、 Tornados の Telstar で使用され一躍脚光を浴びることとなります。トルネ イドースは、Vox Continental も早期に導入し、数々のヒットを世の中へと送り出しました。

開発期間の後、JMI 社は 1962 年、最初の Vox Continental オルガンの量産を開始しました。後にイタリア のメーカーと合弁で生産されます。Continental をベースにしながらも、様々な機能の違いを持ったモデ ルが多数発売されました: Continental(シングルマニュアル)、Super Continental(デュアルマニュア ル)、Jaguar(ドローバーの代わりにスイッチを採用)、Corinthian(Jaguar に似た仕様)、Baroque (アンプ/スピーカー内蔵)。そして最も先進的だった 300 には、下段では Continental 同等、上段には、 異なるドローバーを有する拡張された Continental を併せた仕様となっています。

およそ 1967 年、Tom Jennings は、買収後、自分の会社から解雇されました。彼はその後、Jennings Electronic Instruments (JEI) 社を立ち上げ、もう一度自分のオルガンを作り始めました。これらのオル ガンは Continental 300 に基づいていますが、上段のマニュアルには、さらに多くのドローバー、拡張 パーカッションセクション、トレモロ、スプリング・リバーブの追加だけでなく、いくつかのトーンプリ セットが追加されています。

Vox オルガンのそのサウンドは、Animals 、Beatles 、Zombies など多くのグループによって使用され、 瞬く間に広がっていきました。

1.2.2 クールなルックス

Vox Continental のように、すぐにそれと認識できるデザインを持ったキーボードはほとんどありません。 その独特の形状と独自のカラーバリエーションは、他のどのポータブルオルガンとも一線を画すものだと 言えるでしょう。



VOX Continental I

クローム脚は、取り外し可能な蓋の中に収納でき、ライバルであるハモンドよりもはるかに簡単に輸送す ることを可能にしました。頑丈でフラットな赤 / オレンジのトップは、フェンダーローズピアノなどのサ ブキーボードを置くための最適な場所で、Doors の Ray Manzarek がしばしば使用していました。以前 ハープシコードで見られた、逆のカラーリングの鍵盤は、審美的な天才の最終的なストロークであり、非 常に魅力的な組み合わせ(すなわち「コンボ」)でした。

1.2.3 名声を欲しいままにしたサウンド

Vox Continental は、Hammond オルガンとは全く異なったサウンドを持っています。それは、サイン波 に依存しないため、実際により柔軟性があると言えるでしょう。また、ユーザーは(実際に矩形波を フィルタリングされた)三角波を追加または代用することができ、大幅に音のパレットを拡大します。

この柔軟性により、その音色は「滑らか」と「まろやか」、「明るい」、「開放感」、「エッジの効い た」と交互に説明されます。ライバルは、特定の設定において聞かせることに苦労している一方、Vox Continental では、ギターを多用したミックスでも問題なくその存在感を確認することができます。より 繊細な色調が必要な場合にはシンプルなサイン波が代わりに使用され、または「甘味料」として三角波 形と組み合わせて使用することができます。

そしてもちろん、Vox Continental V ソフトウェア・インストゥルメントでは、それらのオプションすべ てを提供しています!

1.2.4 メンテナンス

Vox Continental のチューニングなどの多くは、分周器コンポーネントによって簡素化されたものの、 キーボードの電気機械には、まだ懸念が残されていました。キーごとに、各ドローバー・ストップのた めの独立した接点があり、それが使用された頻度に比例して、これらの個々の接点も、多くの場合、異 なるスピードで消耗していきます。非常に古い、整備不良の Vox Continental では、演奏する鍵盤に よって異なるサウンドをもたらします。この場合、全体的な出力は全く予測できません。

しかし、私たちは忠実にこれらの古典楽器を再現しようと真剣に考えています。我々の Vox Continental Vエミュレーションで行った興味深い事柄の一つは、「予測不可能」である部分を追加する機能を提供 したことです! オープンモードの Key Contact Age と名付けられた項目で制御することができます。 それを変化させると何が起こるかを見てください! それは作成しているプリセットに個性を注入する ことができるでしょう。

1.2.5 VOXが使用されているディスコグラフィーの例

9様々な Vox のモデルを使用してレコーディングされた多くのアルバムがあるが、その一部を個々に紹介します。

96 Tears – Question Mark & the Mysterians	Do You Love Me – The Dave Clark Five
House Of The Rising Sun – The Animals	I'm a Believer – The Monkees
I'm Down – The Beatles	In-A-Gadda-Da-Vida – Iron Butterfly
Light My Fire – The Doors	One Step Beyond – Madness
Watching the Detectives – Elvis Costello	Working My Way Back To You – The Four Seasons

これは、本当に簡単なリストです。この他にも数十年に及ぶ膨大なヒットソングがあります。これは明 らかに楽器を使用したことを幅広い視聴者にアピールしたものです。

今日では良好な状態で Vox オルガンを保持することは非常に困難です。これらは悲しいことに音楽業界 で最も頻繁に使用される鍵盤楽器ではなく、近年では珍しくなってきました。Vox Continental V は、そ れに第二の人生を与えるために生まれ、チューニングトラブルの軽減を行います。

1.3 フィジカルモデリング・シンセシス

サウンドシンセサイズの世界では、サウンドを作るための様々な方法があります。

加算合成(サイン波を合わせることによって音色を作成)

減算合成(オーディオ信号の部分音の音色を変更するためにフィルターによって減衰される)

サンプルプレーバック(原音のサンプリングを再生)

グラニュラー合成(サンプルと同じ原理に基づいたマイクロサウンド・タイムスケールで動作するベー シックなサウンドシンセサイズ)

フィジカルモデリング・シンセシスは、生成される音の波形が物理的なソースをシミュレートするため の方程式とアルゴリズムで設定され、数学的モデリングを用いて計算される方法です。

1.3.1 音楽と数学

フィジカルモデリングにはサウンドプロダクションをコントロールする(おそらく簡略化された)物理 法則によって構成され、典型的にはいくつかのパラメーターがあります。そのうちのいくつかは、弦を 叩いたり、トーンホールを覆うようなプレーヤーの相互作用を時間依存的なセクションや物理的なマテ リアルや楽器の寸法を表す定数です。

このアイデアはサウンドシンセサイズの歴史の中でも古くからありますが、コンピューターの演算の複 雑さや処理スピードの問題から最近に開発されたものに限定されています。

1.3.2 難問

ドラムの音をモデリングするためには、ドラムのヘッドを叩く、二次元のヘッドにエネルギーを注入す る方法については式があるでしょう。ストライクの特性(剛性、ヒットの速度、材料、ストライクの方 法)、ヘッド(質量密度、剛性)、ドラムの胴の共振との結合とその境界(リジッドターミネーショ ン)の条件はすべてが音の発生の動作に関与するため数式で記述する必要があります。

- 打撃時の特性:剛性、ヒットする速度、材料、方法、どこを叩くか
- メンブレン:質量、密度、弾性、皮膚 vs プラスチック vs 布
- ドラムのヘッドとボディの共鳴
- ヘッド境界での条件:ドラムのボディの終端の剛性、複数ある独立して調整可能な圧力ポイント
- スネアドラム下のスナッピー等の付加条件によるもの

モデリングされる類似したステージは、アコースティックギターのような楽器でも見受けられます。数 年前、フランスの科学者は、すべてのアコースティックギターのパラメーターの完全なモデリングを行 いました。計算は、音を出すために3日間続きました。

フィジカルモデリングの課題はリアルタイムで使用できるモデルを取得するためのアルゴリズムと計算 を簡素化することです。

1.3.3 終わりなき革命

フィジカルモデリング・シンセシスにはいくつかの方法があり、 Karplus-Strong アルゴリズム、 digital waveguide シンセシス、フォルマントシンセシス...音の目的に音を向かわせるためにそれぞれ異なるパ ラダイムを使っています。

特筆すべきは、フィジカルモデリング・シンセシスは"サンプリング"方式よりも 1000 倍少ないスペース の使用で本物の楽器に音質に近づくことができます。小型でポータブルな電子楽器を想像し、忠実にス タインウェイピアノの鮮明な音を再現することができ、ストラディバリウスバイオリンやトランペット の華麗なサウンドや甘い音があり、フィジカルモデリング・シンセシスにリミットはありません。

物理学に関係する法則と電子回路の特性の徹底的な理解と知識を備えたたくさんの音楽マニアが Arturia に 協力しました。

そして、Arturia は、私達の最新の発明である Vox Continental V を発売するに至りました。

12これはユーザーのクリエイティビティを大いに刺激するかもしれません。

2 インストール

Vox Continental Vは、Windows 7 と 8 または、MAC OS X 10.7 以降の OS を搭載したコンピューターで 動作します。**Vox Continental V**は、スタンドアローンの他に VST、Audio Units、AAX インストゥルメン トとして使用することが可能です。

2.1 Windows 7、 8 でのインストール

ドライブに CD-ROM を挿入します。CD-ROM の中から Vox_V_Setup.exe という名前のファイルを探し 出しダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを行います。

まず、インストールする項目を選びます。

- Standalone application(スタンドアローン): スタンドアローン・アプリケーションとして Vox Continental V をインストールしたい場合にこのオプションを使用します。
- VST 2.4 plug-in: VST2.4 プラグインは、スタインバーグの標準インターフェイスであり、その他 多くのオーディオ・アプリケーションにサポートされています。
- VST 3 plug-in: VST 3 プラグインは、 VST の最新バージョンなので、VST 3 に対応している DAW を使用している場合、 VST の古いバージョンをインストールする必要はありません。
- VST 3 plug-in (64 bits) : 64 ビット版の Windows や、 64 ビットの DAW に使用可能なバージョン です。

- AAX plug-in (32 bits) : 32 ビット・バージョンの Pro Tools で使用します。
- AAX plug-in (64 bits): 64 ビット・バージョンの Pro Tools と Windows で使用します。

どのバージョンをインストールすれば良い判らない場合は、すべての項目にチェックを入れてください。 それらは多くのディスクスペースを必要としません。

次に、共有する VST フォルダのロケーションを確認してください。多くのケースで、すでに選択されて いますが、万が一そうでない場合には、以下のパスを指定するか、任意のフォルダを指定してください。

B	Setup - Vox V	- 🗆 🗙
Shared VST directorie Please choose the sha	s red folders where the VST 2 plug-ins will be	e installed
The VST 2 plug-ins will Shared 32-bits VST fol	be installed in the following directories: der	
C: Program Files (x86) (VstPlugins	Browse
Shared 64-bits VST fol	der	
C:\Program Files\Stein	nberg\VstPlugins	Browse
	< Back I	Next > Cancel

インストーラーに表示される手順に沿ってインストールを進めてください。インストールが完了したら、<u>セ</u> <u>クション 3</u>のオーサライゼーションに進んでください。

2.2 Mac OS X でのインストール

- ドライブに CD-ROM を挿入します。CD-ROM の中から Vox_V.mpkg という名前のファイルを探し出しダ ブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを行います。
- まず、エンドユーザー・ライセンス契約書をよく読み同意してください。
- 次に、インストールする項目を選ぶ画面に移動します。
- Standalone : DAW を使用せずに Vox Continental V アプリケーションを使用できるよう、フルバージョン をインストールします。

ARTURIA VOX Continental V User's Manual

- VST: VST プラグインは、スタインバーグの標準インターフェイスであり、その他多くのオー ディオ・アプリケーションにサポートされています。VST2は、いくつかのアプリケーションが 対応しており、VST3は、その他のアプリケーションが対応しています。使用している DAW が 対応していないフォーマットのチェックを外すことができます。または、今後新しいソフトウェア を使用する際に必要になるかもしれないので、あらかじめ両方をインストールしておくことも理に かなっているといえます。
- AAX : Pro Tools を使用している場合は必要です。
- AudioUnit : Apple が開発したプラグイン・プロトコルです。

	Package Name	Action	Size
Introduction	Standalone	Upgrade	69 MB
License	✓ AudioUnit	Upgrade	42.8 MB
Destination Calent	▼ ✓ VST	Unavada	83.1 MB
Destination Select	VSI 2	Upgrade	41.0 MB
Installation Type	✓ AAX	Upgrade	43.8 MB
Installation	✓ Resources	Upgrade	122.3 MB
Λ			
	Space Required: 361 MB	Remaining	: 769.16 GB

どのバージョンをインストールすれば良い判らない場合は、すべての項目にチェックを入れてください。 それらは多くのディスクスペースを必要としません。

認証ウィンドウが表示されたら、コンピューターの管理者名とパスワードを入力してください。

インストーラーに表示される手順に沿ってインストールを進めてください。インストールが完了したら、<u>セ</u> <u>クション 3</u>のオーサライゼーションに進んでください。

→ オーサライゼーション 3

Vox Continental V ソフトウェアのインストールが完了したら、次にソフトウェアのフル使用可能な状態に するためにレジストレーションとオーサライゼーションを行う必要があります。

オーサライゼーションの手順は、2 つのステップで行います。 : <u>レジストレーション</u> と <u>ライセンスのダ</u> <u>ウンロード</u>

3.1 レジストレーション

最初のステップは、ソフトウェアを使用可能な状態にするにアクティベーション・コードを入手するため にソフトウェアのレジストレーションを行う必要があります。

あなたの手元の Vox Continental V ソフトウェアの**ライセンスシリアルナンバー**とアンロックコードを確認してください。これは、オンラインでご購入後に メールで送信されます。

コンピューターをインターネットに接続して右記ウェブページにアクセスしてください。 http://www.arturia.com/login

すでに Arturia アカウントをお持ちの場合は、ログインをしてください。

Email address:	
Password:	
Remember me:	Login

• Arturia アカウントをお持ちでない場合は、ここでアカウントの作成を先に行ってください。

Walle to create all accounts ? Click lier	Want to	create	an	account*	?	Click	here
---	---------	--------	----	----------	---	-------	------

アカウントにログインした後に、Vox Continental V を登録しアクティベーションコードを要求することが 可能です。

アカウントの"My Registered Products"セクションに行き、"Add"ボタンをクリックしてください。表示さ れたフォームのドロップダウンメニューから"Vox Continental V"を選択し、(登録カードに記されてい る)あなたのシリアルナンバーとアンロックコードを入力してください。メールでこれらを受け取った場 合は、任意の場所にコピー&ペースト可能です。

最後にあなたが**アクティベーション・コード**をコピーできるスクリーンが現れます。バックアップとして メールにて同じ情報を登録したアドレスに送信します。

3.2 ライセンスのダウンロード

アクティベーション・コードを取得したら、コンピューターの eLicenser Control Center を起動してくだ さい。このアプリケーションは、Vox Continental V ソフトウェアをインストールする際に自動的にイン ストールされます。

• Windows 7 or 8: スタート > すべてのプログラム > eLicenser > eLicenser Control Center

- Windows 8 (alternate): C:\Program Files (x86)\eLicenser\eLCC.exe
- Mac OS X: (Macintosh HD) > アプリケーション > eLicenser Control Center

ここまでのスクリーンショットは Mac OS X 上で行われましたは、プロセスは Windows 7/8 OS 上でも 同じですが、グラフィカル・インターフェイスだけが異なります。

"License Control Center"メイン・ウィンドウで "SeL"ソフトウェア・ドングルがあなたのコンピューターにインス トールされていることを確認してください。

000	eLio	censer Control Center (eLC Version 6.7.1.8143)		
			0	?
Enter Activation	Code		Maintenance	Help
eLicensers		Licenses		
and the	My Licenses	V Collection 3 AL Arturia, SeL		
	7211895414 - 6A04BB1440 Soft-eLicenser (SeL)			
The 'My Licen	ses' entry lists all licenses which are c	urrently available on this computer.		

"License Control Center"メニューの"Enter Activation Code"ボタンをクリックし、アクティベーション・ コードを入力してください。単純に ARTURIA ウェブサイトのあなたのアカウントでコピーした 32 ケタの コードをペーストするだけです。

euillez entrer ur "Continuer"	un code d'activation dans les champs de texte ci-dessous puis cliquer
Entrer le Code d	'Activation:
	0240-84EM-UZNT-DTCW-OOPG-CO00-1047-8598
. Wurlitz	er V
Arturia, S	er V aL
Arturia, S	er ¥ eL

ライセンスの保存先を選択します。デフォルトのインストール先は、ソフト eLicenser バーチャル・ドン グルですが、他に USB-eLicenser ハードウェアを使用することも可能です。

Sélectionner un e	Licenser		
	Sélectionner un eLicenser Veuillez sélectionner le eLicenser "Télécharger Licence".	pour lee	quel vous désirez télécharger une licence puis cliquer sur
eLicensers			Licences
	1795993719 - 235604A3BF Soft-elicenser (Sel)	^	
		Ŧ	Annuler Téléchamer Licence

eLicenser Control Center は、Vox Continental V のライセンス・ソフトウェアをダウンロードする準備が 整いました。

ライセンスを他のコンピューターに移動したり、複数のコンピューター上で Vox Continental V を使用す るためには以下のものが必要となります。(一度に使用できるコンピューターは一台のみです)

- USB-eLicenser ハードウェア・ドングル(別売されており、"Steinberg Key"と呼ばれ、他の多くの アプリケーションでも採用されています)
- eLicenser Control Center で、ソフトウェア-eLicenser から USB-eLicenser ヘライセンスをドラッ グ&ドロップ。

この移動方法には有効なインターネット接続が必要で、以下の両方の方法を行うことができます。

- Soft-eLicenser から USB-eLicenser へ。
- USB-eLicenser から Soft-eLicenser へ。

これ以上の技術的な詳細については、コンピューターにインストールされている eLicenser マニュアルを ご確認ください。

Start をクリックし、ダウンロードが完了するまでプログレス・バーが動くのをお待ちください。完了を 知らせるポップアップ・ウィンドウが開き、それを確認したら Close をクリックしてください。

eLicenser Control Center のメイン・ウィンドウで Vox Continental V のライセンスがインストールされ、 アクティベートされていることが表示されます。

Enter Activation Code		Maintenance Hel
Licensers	Licenses	
My Licenses XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	V Collection 3 AL Arturia, Sel W MILLING SEL	

それではさっそく Vox Continental V を起動してみましょう。

3.3 ソフトウェアの起動

- Vox Continental V アプリケーションを起動するには、
- Windows 7 / 8 : スタート > すべてのプログラム > Arturia > Vox V または "Vox V" を選択
- Windows 8 (alternate): C:\Program Files (x86)\Arturia\Vox V を選択、または Vox V.exe をダブル クリック
- Macintosh:ファインダー>アプリケーション > Arturia を開き、Vox V アプリケーションをダブ ルクリック

₄ ユーザー・インターフェイス

この章では、Vox Continental V で使用できる多くの機能について解説します。他のすべての Arturia 製品 と同様に可能な限りシンプルで楽しめるような長さにまとめました。

4.1 バーチャル・キーボードとペダル

Vox Continental V のウィンドウで、バーチャル・キーボードとペダルを使用すると外部 MIDI デバイス を使用せずにサウンドをプレーすることができます。サウンドを聴くには、バーチャル鍵盤や、ペダル をクリックしてください。グリッサンドを行うには、鍵盤やペダル上でカーソルをドラッグしてください。



4.2 ツールバー: 各機能と初期設定

メインの Vox V ウィンドウ上部に**ツールバー**と呼ぶ、狭いストリップがあります。ここでは、環境設定 や、 MIDI 設定、様々なサウンドの選択、出力オプション等を詳細な設定画面へのアクセスを行います。

4.2.1 オーディオと MIDI のセッティング

Windows: Setup > Audio MIDI Settings メニューをクリック

[insert picture of Windows Setup/Audio MIDI Settings menu]

これは初めてソフトウェアを起動するときに表示されるダイアログボックスです。ここでは、次の内容を 設定することができます。

• オーディオ・インターフェイスの選択

- オーディオ出力ポートを設定
- バッファーサイズを設定
- サンプルレートを設定
- 認識されている MIDI 入力ポートを設定(複数選択可)

Mac OS X: Vox V のプルダウンメニューから Preference を選択

Vox V	
About Vox V	
Preferences	ж,
Services	•
Hide Vox V	жH
Hide Others Show All	₹ #Η
Quit Vox V	жQ

接続されているオーディオや MIDI インターフェイスの設定を行うウィンドウが別に開きます。

×	Audio MIDI Settings					
	Device	- CoreAudio				
		 Built-in Output 				
	Buffer size	- 512 samples (11.6 ms)				
	Sample rate	- 44100 Hz				
		Play Test Tone				
	MIDI Devices					
	B28x MI	DI Port				
	Arturia B	leatStep				
	Spark Con	troller Spark Public IN				
	Spark Con	troller Spark Private IN				

Mac OS X でのオーディオ& MIDI 設定ウィンドウ

上記のウィンドウは、いくつかの設定オプションを表示しています。"Built-in Output"は、コンピューターの内蔵出力から Vox Continental V のサウンドを出力することを意味し、 MIDI デバイスとして 2 つの

Arturia コントローラーを指定しています。異なる設定を望む場合、ドロップダウンメニューから必要な オーディオ・インターフェイスを選択し、 MIDI デバイスのリストのチェック入れたり、外したりしてく ださい。

設定可能な他のオプション

- バッファーサイズを設定します。(値が小さいとレイテンシーは小さくなりますが、 CPU の負担が増します)
- サンプルレートを 44100 Hz ~ 96000 Hz の間で選択します。

Yまた、オーディオ・インターフェイスが適切に反応するか確認するためにテストトーンを再生すること ができます。再生を行うには"Play Test Tone"をクリックしてください。ボタンを押した後、約1秒間テ ストトーンを発します。もう一度確認するためには、ボタンをもう一度クリックしてください。

4.2.2 オルガンのカラー選択

"Vox Continental"は通常、"the organ with the orange/red top"を連想させます。しかし、実際はそのファ ミリーに、Vox と(それ以降)JMI によってイギリスで生産された、グレートップのデュアルマニュア ル・ユニットも含まれます。

これらはマニアのためにお好みで2色の中から選択できるオプションを用意しました。プリセットとして グレーと、レッド/オレンジから選択することができます。

この選択を行うには、 Vox V ウィンドウの右上にある PPEF ボタンをクリックします。すると Preference ウィンドウが開き、最下部でカラーを選択することができます。



プルダウンメニューをクリックし、2つのカラー・オプションのいずれかを選択してください。

4.3 プリセットの管理

プリセットには、Vox Continental V で作成したサウンドの設定を保存しておくことができます。プリ セットを保存するには、それが属す"BANK"と"TYPE"を指定します。各バンクには、"FX"等のようなプ リセットをグループ分けするために、いくつかのタイプが含まれています。各タイプの中にはいくつか のプリセットが収録されています。

Vox Continental V のファクトリープリセットにはいくつかのバンクがありますが、ユーザーにより個々 のタイプを含む"USER"バンクを作ることもできます。ファクトリー・バンクは上書きすることができま せんが、新しいプリセットを作るための出発点としては、よいテンプレートになるでしょう。その後、 修正したものをオリジナルのプリセットとして名前を付けて保存することができます。

4.3.1 バンク、タイプ、プリセットの選択

バンク、タイプ、プリセットの選択欄は、ツールバーに常に表示されています。



選択中のバンクとタイプの中から新しいプリセットを選択するには、プリセット名のフィールドをク リックしてください。ドロップダウンメニューに、そのカテゴリーで使用可能なプリセットがリスト表 示されます。使用したいプリセットがどこにあるか分かっていて、それが近い場合や、そのカテゴリー 内を順に試したい場合には右側にある青い上下の矢印を使用してください。どの方法でもプリセットを 選択するとすぐに新しいサウンドを MIDI コントローラーやシーケンサーで使用できるようになります。



新しいプリセットを選択する

同じバンク内の異なるタイプを選択する場合には、プリセットタイプ・ボタン(3 つ並ぶボタンの中 央)をクリックしてください。ドロップダウンメニューは、同じバンクに含まれているプリセットタイ プ(Classic、Distorted 等)をリストで表示します。表示された各タイプにはプリセットを保存してい るサブメニューがあります。そのサブメニューの中から目的のプリセットを選択するには、矢印に従っ て選択してください。

	Classic	TN_Absolutely S 🔷	6 6	3	EXT	OPEN	PEDAL
	All Types		Þ				
	Bizarre		•				
1	Classic		¥.	1	TN_Abs	olutely S	weet
	Distorted		۱.		TN_Belie	ever	
	Dry		•		TN_Brin	g It Hom	e
	FX		•		TN_Che	ap Comb	0
					TN_Italia	an Cheez	e

プリセットタイプ・メニューの中の新しいプリセットを選択する

別のバンクを選択するには、(3つ並んでいるボタンの左側の)プリセットバンク・ボタンをクリック します。ドロップダウンメニューは、選択可能なプリセットタイプや、プリセット名をリスト表叔父し ます。新しいプリセットを選択するにはプリセット名の位置まで移動して選択してください。

Theo Niessink	Classic	TN_Absolutely S 🖕 🕐 😚	EXT	OPEN PEDA
All Banks				
Factory				
Luca Torre	Þ	All Types	•	
Stephane Schott ✓ Theo Niessink Vox		Bizarre / Classic	;	
102		Distorted	Þ	LT_Drive
User		FX	۱.	LT_Guitarre
		Doloto in All Panke - Type Classic		LT_Zelda

プリセットバンク・メニューの中から新しいプリセットを選択する

プリセットバンク・メニューの"All Banks"オプションを使用するとすべてのバンク、プリセットタイプ、 プリセットに直接移動することができます。これは、どのプリセットに収録されているかに関係なくす べてのプリセットに直接アクセスすることが可能です。

Niessink All Ba	Classic nks	TN	Absolutely S All Types	1	£7	FXT	OPEN	PEDAL	AMP	PANIC	4%	All SS_Drop
Factor	/ Forre	•	Bizarre ✓ Classic) 	LT_Aq LT_Bib	ua andom		ł	SS_Emin SS_Expe SS_Firev
Steph √ Theo Vox	ane Schott Niessink	* * *	Distorted Dry FX				* * *	LT_Che LT_Che LT_Cla	eerch eesy Bas ssic FX	s		SS_Flute SS_Flute
lleer			Delete in All	Banks -	Type C	lassic		LT_Cla	v Delay			SS_Full H

All Banks > All Types メニューを使用してプリセットを選択

重要:プリセットに修正を加えた場合、ツールバーのプリセット名横にアスタリスク(*)が表示されま す。

4.3.2 修正したプリセットの保存

使用中のプリセットを変更し、その設定を保存するには、ツールバーの "Save" ボタンをクリックしてく ださい。これはフロッピーディスクのアイコンで表示されています。

変更したプリセットを別の名前で保存したい場合、ツールバーで二重のフロッピーディスクのアイコン で表示されている "Save as"ボタンをクリックしてください。ドロップダウンメニューが表示され、編 集したプリセットを保存するための新しい場所やプリセット名を選択できるようになります。

注:ファクトリープリセットは上書きできません。もし、ファクトリープリセットを編集して"Save"ボ タンを押した場合、それをユーザー・プリセットとして保存するよう自動的に"Save as"機能が始まりま す。

4.3.3 プリセットのバンクのインポート/エクスポート

Vox Continental V で作成したプリセットの新しいバンクをエクスポート、またはインポートすることが 可能です。プリセットの新しいバンクをインポートするにはツールバーのプリセットバンクのインポー トボタンをクリックしてください。:



このボタンをクリックするとウィンドウにはプリセットバンク・ファイル(拡張子".vox")を選択でき るように表示します。インポートするファイルを選択し"Open"をクリックします。プリセットの新しい バンクが自動的に使用可能なバンクに表示されます。

同様に別のマシンで保存したサウンドを使用できるようにオリジナルのサウンドをエクスポートすること が可能です。インポートでは、全バンクを一度の操作で行うことができますが、エクスポートでは、単一 のプリセット、タイプ、全体のバンクで行うことができます。

-24-

49

これを行うにはツールバーのプリセットバンク・エクスポートボタンをクリックしてください。

C.

エクスポートを行いたいタイプ(バンク、タイプ、プリセット)を選択し、エクスポートするバンクの 保存先のフォルダとファイル名を選択してください。

4.4 より高度な機能

4.4.1 拡張モード

"EXT"ボタンをクリックすると、拡張モードになり、Vox Continental V organ のドローバーとペダルのた めにドローバーをマニュアルで操作できるようになります。しかし、このモードではもっと多くのこと を行えます。:それは上部の鍵盤部の左側に拡張スイッチ(トレモロ用の"TREM")を追加し、下部の鍵 盤部の"パーカッション"スイッチを変更し、プリセットで使用可能なパーカッション・ストップ・ボタン を使用可能にします。

EXT

これを説明するために2つのモードを並べた比較表を下記に表します。

4.4.1.1 アッパー鍵盤ドローバー

標準モード	16'	8'	4'	II	III				~	М	
拡張モード	16'	8'	5-1/3'	4'	2-2/3'	2'	1-3/5'	1'	2	М	S

注:1、11、~、M、Sの定義については次ページを参照してください。

4.4.1.2 ロウワー鍵盤ドローバー

標準モード	16'	8'	4'	IV					~	М	
拡張モード	16'	8'	5-1/3'	4'	2-2/3'	2'	1-3/5'	1'	~	М	S

注: IV、~、M、Sの定義については次ページを参照してください。

4.4.1.3 ペダル・ドローバー

標準モード	١	М	
拡張モード	~	М	S

注:~、M、Sの定義については次ページを参照してください。

定義について:

Ⅱ = 5-1/3' と 1-3/5' のミックス Ⅲ = 2-2/3', 2' と 1' のミックス Ⅳ = 2-2/3', 2', 1-3/5' と 1' のミックス ~= ドローバーごとのサイン波出力、別名"フルート"ストップ

M = ドローバーごとのフィルタリング・スクエア波出力、"リード"ストップとしてラベリングされ ている

S=ドローバーごとの三角波出力、拡張モード時のみ、"ストリング"ストップと呼ばれている

4.4.1.4 ベース / エフェクト・スイッチ

標準モード	8' / 16'	Rev	Vib	
拡張モード	8' / 16'	Rev	Trem	Vib

ベース / エフェクト・スイッチについて覚えておくべき、いくつかの重要なことがあります。

- 8' / 16' スイッチは、ペダルのオクターブを選択
- Vib スイッチは、オルガンのマニュアルとペダルの両方にビブラートを加えます。
- Trem スイッチは、アッパー鍵盤にトレモロを加えます。

リバーブの量は、ベース/エフェクト・スイッチの次にあるリバーブ・スライダーによってコントロール される点にご注意ください。ベースディケイ・スライダーは、ベース音のペダルがリリースされてから どれくらい鳴り続けるかを指定します。

4.4.1.5 パーカッション・スイッチ

標準モード	8'	4'	Mix	Short / Long	
拡張モード	8'	4'	2-2/3'	1'	Short / Long

Tパーカッション機能について覚えておくべき点が2つあります。

- Mix は、パーカッシブな部分に 2 つのピッチを提供します。 : 5-1/3' and 1-3/5'
- Percussion は、アッパー鍵盤に影響を与えるだけです。

4.4.2 オープン・モード

OPEN

オープン・モードは、Vox Continental V の機能を拡張する"フードの下"にあるパラメーターを提供します。 エンジンのタイプ(Vox、または Jennings)、リバーブ・タイプ、ビブラート/トレモロのデプスやレー トの設定、バックグラウンド・ノイズの追加/削除、オクターブ・ディバイダーのファインチューニング とキーコンタクト・エイジコントロールによってインストゥルメントに"ビンテージ感"を与えることがで きます。



オープン。モードの機能リストは左から右へ、上から下の順です。

- Vibrato Depth プリセットにかかるビブラートの深さをコントロールします。"Vib"ボタンがオ ンになっている時のみ、ビブラートを使用可能です。
- 注: ビブラートはグローバル・エフェクトです。アッパー/ロウワー・オルガンや、ペダルに影響を与えま す。

Vibrato Rate ビブラートのスピードを設定します。

- **Tremolo Depth** プリセットにかかるトレモロの深さをコントロールします。"Trem"ボタンがオ ンになっている時のみ、トレモロを使用可能です。
 - 注:oトレモロは、アッパー鍵盤にのみ影響を与えます。これは、ロウワー鍵盤やペダルへの影響はありま せん。

Rev (Reverb) Vox Continental V には、コンボリューション・リバーブを含む、インパルス・ レスポンスに由来する新しい3種類の異なるスプリングリバーブ・モデリングを 搭載しています。: Spring King、RV-1、RV-2。プリセットに適したものを選択 するには、このパラメーターを使用します。



チューンング・コントロールox Continental は、各オクターブのピッチを作成するために"octave divider"回路を使用しています。このコントロールは、半音階で音を微調整する ことができます。調整したイントネーションを使ったプリセットを作成したいと きにこのコントロールを使用することができます。



各ツマミのレンジは、±50 セントで、0.4 セント単位で調整可能です。より 細かい分解能を必要とする場合、マウスを右クリックしてツマミをクリック &ドラッグすると 0.025 セント単位で調整することができます。

Engine T右上のスイッチを使用してエンジンを Vox と Jennings の2つから切り替える ことができます。多少の細かい違いが2つのオルガン・ラインにあり、全体的な 音質の違いを区別することができます。音質的な好みで切り替えることができ、 機能は同じものを提供しています。

Background Noise アナログ回路は、経年変化によって、コンポーネントの不安定性によりノイズを 発生させることがあります。Vox Continental V は、この"好ましくない"状態をも モデリングしてノブによりノイズを加える事ができます。使用可能なレンジは、 -90 dB(ノイズ無し)~ -30 dB(ノイズが多い状態)の間で調整可能です。

Key Contact Age オルガンのキーボードのデザインは、キャラクターかなりの影響を与えます。各 キーは、ドローバー・ストップごとに別々のコンタクトをします。そしてこれら の接続が、経年変化によって異なる状況を作り出します。このノブを使用して何 もない状態(0.00%)~メンテナンスが必要な状態(100.0%)の間で調整可能 です。全体的な出力は、鍵盤と鍵盤の間で大きく異なる可能性があり、それが Vox Continental V が提供する他の効果と組み合わさり、興味深いサウンドにな る可能性があります。

もう一つの良いお知らせは、シンプルにオルガンの上をクリックすることでオープン・モードに入ること ができるということです。もう一度クリックすると閉じることができますが、オープンにした状態だと、 トップが無いため、チューニング・コントロールや、他のノブ類を越えた、後ろのフードをクリックしな ければなりません。

4.4.3 ペダル

PEDAL

キーボード・プレーヤーは、時々、演奏中にローエンドを必要とします。これを知って Vox は、オプ ションのアクセサリーとしてペダルボードを提供しました。しかし、 Arturia は無料で Vox Continental V に付属させました。 我々のペダルは組み立てる必要がありません。PEDAL ボタンをクリックするだけで1オクターブ分の ペダルが現れます。ドローバーに専用のセットを持っており、アッパーの左側にオクターブレンジ・ス イッチ、そしてスライダーは、ペダル・サウンドのリリースタイムをコントロールするベースディケイ があります。これらは、アッパー/ロウワーのオルガンの鍵盤のように個々の MIDI チャンネルを割り当 てることも可能です。



またペダルの上、本来あるべき床をクリックすることもできペダルの表示、非表示を切り替えることが できます。

注: ペダルを収納した時は、MIDI コントロールに反応しません。その代わり、ロウワー鍵盤の最も低 いオクターブがそのベースサウンドをその MIDI チャンネルでプレーします。

4.4.4 出力モード

Direct

 出力モードには、3つのオプションがあり、それはFX ユニットの信号経路にあります。"Direct"ボタンを クリックすると、以下のオプションを見ることができます。



- Direct: Vox Continental V と FX ユニットは、ギターとレスリー・キャビネットのモデリングをバイパスし、出力に直接接続されます。Vox Continental V に組込まれているコンボリューション・リバーブは使用することができます。
- Guitar amp: Vox Continental V と FX ユニットからの出力は、複数のスピーカーやマイキングをシミュレートしたモデリング・ギターアンプを通ります。リバーブはシンプルなスプリング・リバーブで、昔のアンプに付属していたリバーブをシミュレートします。



異なるスピーカー出力モデルを選択するには、アンプフェイスの上部にあるラベルをクリックしてくださ い。



異なるマイク・モデルを選択するにはキャビネットの左下部にあるラベルをクリックしてください。



 Leslie: レスリー・スピーカーは、通常 Hammond オルガンと共に使用されますが、これを Vox Continental で使用しても素晴らしいサウンドが得られると考えます。高い出力により、多少の"ク ランチ"サウンドと無敵のドップラー効果を加えることができます。



4.4.5 スウェル・ペダル



ペダルボード、アンプや FX ペダルを使っているかどうかに関わらず、スウェル・ペダルは、常にオル ガン下のフロア中央にあります。全体的なレベルを決めるには、ペダルの上部をクリックしてドラッグ することができます。または MIDI コントローラーを割り当てることも可能です。

4.4.6 FX スロット

FX SLOT Y

次は"FX スロット"とラベリングされている"ジャンプアップ"メニューです。ラベル右側の矢印をクリッ クすると、使用可能なエフェクトのリストを表示します。



エフェクトを使用する方法に複雑なことは何もありません。各エフェクトとそのパラメーターについて は、 <u>セクション 4.6</u> (<u>エフェクト</u>)を参照してください。

4.4.7 パニック・ボタン

PANIC

コンピューターが受信した MIDI データが途切れてしまった場合、音が止まらなくなってしまった場合、 音を止めることができます。これはノートオフ・メッセージを受信していないことによるもので、この "PANIC"ボタンを押すことですべてを解決することができます。

4.4.8 CCPU メーター

CPU メーターは、リアルタイムで Vox Continental V によって使用されている CPU の処理能力をフィー ドバックします。数値とともに負荷が上昇すると点灯するレベルメーターもあります。



注: 単純に Vox Continental V による負荷を表示するだけであって、DAW や他のプラグインと同時に使用 してもそれらを積算することはありません。

4.4.9 グローバル MIDI チャンネル

Vox Continental V にアクセスするために使用する MIDI チャンネルを選択します。"All"を選択するとソ フトウェアは、全ての MIDI チャンネルのデータを受信します。(MIDI Preference を使用してどれを使 用するか設定することも可能です。)



ここで MIDI チャンネルを選択すると、その MIDI チャンネルで到着したデータのみを受信します。 グロー バル・チャンネルが3つのインストゥルメント(アッパー、ロウワー、ベース)の内のどれかの MIDI チャンネルと一致した時にその音は MIDI データを受信します。このアサイン外のチャンネルを受信する とアッパー・インストゥルメントのサウンドは、入ってくる MIDI データを使用可能になります。

それぞれの鍵盤と、ペダルに MIDI チャンネルを指定することができるウィンドウが"PREF"ボタンの下に あります。詳細については、<u>セクション 4.4.11</u>を参照してください。

4.4.10 MIDI コントロールの設定

Vox Continental V 上のすべてのノブ、スライダー、スイッチは、外部 MIDI コントローラーに割り当て ることができます。しかし使用する前に MIDI コントロール・デバイスがコンピューターに正しく接続 されていることを確認し、DAW、Vox Continental V ソフトウェアがそのコントローラーからの MIDI イ ベントを受信するように設定を行う必要があります。詳細については<u>第 4.2.1</u>章を参照してください)

4.4.10.1 MIDI メニュー

ツールバーの右側にある"MIDI"メニューは、 configs (コンフィグレーション)としてしられる MIDI コン トローラーの割り当てを設定する画面にアクセスすることができます。"MIDI"の右側にある矢印をクリッ クするとドロップダウンメニューが表示されます。

このメニューは、2つのメインエリアで構成されています。



最初のセクション(MIDI controller configs)は、2つに分けられ、4つの特徴を持っています。

- Copy Current Config...: 現在使用中の設定をコピーし、新しい名前を付けてリストの一番下に配置します。この設定に加えた変更は、他のコンピューターに転送するためにハードディスクや、 USB メモリー等にエクスポートすることができます。
- Delete Current Config:現在の設定は、MIDIメニューの一番下の部分にチェックマークが入って 表示されます。"Delete Current Config"を選択すると、確認を促すボックスが画面中央に現れるの で、処理を続行するために"OK"、またはキャンセルするために"Cancel"をクリックしてください。 削除した背亭は、MIDIメニューのリストからは削除されますが、以前にエクスポートしていれば、 エクスポート先のフォルダに残っています。必要があれば、再度インポートすることが可能です。
- Import Config: エクスポートした設定は、このプロセスを使用して Vox Continental V にロードす ることができます。すでに特定の MIDI コントローラー用のマッピングを行った他のユーザーから のファイルをインポートすることも可能です。
- Export Current Config:お使いのコンピューター、または、外部のメモリーデバイスに設定を1つずつエクスポートすることができます。この機能は他のユーザーと設定を共有するためと、バックアップとしてという2つの目的を果たすことができます。

MIDIメニューの下にあるセクションは、既存の設定のリストを表示しています。名前の左側にチェック マークが付いているのものは、現在使用中の設定です。新しい設定を選択するには、その名前をクリッ クしてください。

4.4.10.2 MIDI コントロールのアサイン

Vox Continental V のすべてのコントロールを外部の MIDI コントロールにアサイン可能です。:ドロー バー、スイッチ、ボタン、ノブ、ポット、スウェル・ペダル、各 FX のパラメーター、ストンプボックス のオン/オフ。そしてギターアンプのキャビネットとマイクの設定も可能です。また、コンボリューショ ン。リバーブのモデリングを切り替えることも MIDI コントロールで行うことができます。

MIDI コントロールの準備ができたら、ツールバーの "MIDI"ボタンを押してください。(右側の矢印では なく、テキストをクリック)そうすると Vox Continental V ソフトウェアは、"ラーニング"モードに変わ ります。

ARTURIA VOX Continental V User's Manual

すべてのアサイン可能なコントロールは紫色にハイライト表示されます。次に示す図を2つに分けたよう に多くの機能にアサインすることができます。



Vox Continental V の上部にアサイン可能な MIDI コントロール



Vox Continental V の下部にアサイン可能な MIDI コントロール

上図の中では、コントロールの1つが選択されています(FX ユニットのコーラスタイプ・スイッチ)。 そのスイッチの MIDI コントロール設定ウィンドウに、パラメーター名、最小/最大範囲、アサインされて いる MIDI コントローラー番号を表示しています。

この状態では、またコントロールはアサインされていません。MIDI CC ナンバーを"ラーン"させるために、 使用する外部コントローラーが動かされるのを待っている状態です。コントローラーを動かすと、新しい アサインが行われ、調整されたコントロールが赤くなります。

アサインを無効にするには"UNASSIGN"ボタンをクリックしてください。無効になったことを確認するために MIDI コントロール設定ウィンドウに"UNASSIGNED"と表示されます。

もう一つの例です。エディット中のドローバーの周囲に黒い四角形が表示されています。それには MIDI CC ナンバーが割り当てられており、それを受信するとそのメッセージに反応します。



その黒いウィンドウは、ドローバーの概要を説明しています。ウィンドウ内の右側にある"MIN、MAX"値にご注意く ださい。

お使いのコントローラーにコントロールをリンクが終了したら新しい設定の作成の完了です。それを バックアップする方法については、<u>セクション 4.4.10.1</u>に記載されているエクスポート機能を使用して ください。

MIDI コントロール設定ウィンドウを閉じ、"ラーン"モードを終了するには、もう一度 "MIDI"ボタンをク リックしてください。

4.4.10.3 最小値と最大値の設定

各アサインに対し、以下のように個別にパラメーターの最小値と最大値を設定することができます。 その後、コントロールは、アサインされた MIDI CC ナンバーを完全な範囲で受信しますが、これらの値を コントロールの最小値/最大値で設定した範囲内にスケーリングし直して反応します。

言い換えると、説明すると最小値を 50 に、最大値を 100 に設定されています。

- MIDI CC 値が 0 の時、Vox V のパラメーターの値は 50 です。
- MIDI CC 値が 127 の時、Vox V のパラメーターの値は 100 です。
- MIDI CC 値が1~126の間にある場合、Vox Vのパラメーターの50~100のどこかの値を示します。

この例のように"潰れた"範囲があり、 MIDI コントローラーの動きと Vox V のパラメーターのレスポンス は必ずしも1:1ではないことにご注意ください。Vox V のパラメーターを変更する前の値はコントロー ラーの2つ以上隣接した値である場合があります。

前ページの写真の用に最小値と最大値の値を反転させることも可能です。外部 MIDI コントローラーが"ド ローバー"モードを持っていない場合、ドローバーのコントロールにとても便利です。

4.4.11 MIDI プリファレンス :PREF ボタン

Vox Continental オルガンをフルに活用すると、3つのパートをプレーすることができます。アッパー、ロ ウワー鍵盤とペダルボード。当然、Vox Continental V ソフトウェアは、同時に3つの MIDI チャンネルに 対応することできます。

しかし、Arturia は、そこで止まりませんでした。コンピューターとキーボード・コントローラーを接続 してジャムをするような用途など、他の可能性を考慮に入れています。1 つの MIDI チャンネルからすべ ての楽器(アッパー、ロウワー、ベース)にアクセスしプレーできるように、コントローラー全体を分散 させ、オクターブレンジをトランスポーズしスプリットさせて使用することもできます。

マルチ・チャンネルとシングル・チャンネルでのパフォーマンスを切り替える方法については, <u>セク</u> ション 4.4.12</u>を参照してください。

このセクションの2番目の段落で、"ペダル"の代わりに"ベース"という言葉を使用したことを思い出して ください。これはペダルがプレーするパートを、このシナリオではマスター・コントローラーのキーボー ドで使用できるよう左手の鍵盤でベースパートをプレーすることができます。ペダルは、それらが設定さ れているかどうかに応じて MIDI 受信に影響を与えます。

この優れた機能にアクセスするには、ツールバーの"PREF"ボタンをクリックしてください。



MIDI プリファレンス・メニューが画面中央に表示されます。先に説明したように、ここではパラメー ターのすべてを設定したり、オルガンのカラーを選択することができます。

	Preference	es	×
MID	I Channels		
Upp	er	‡ 1	10.10
Low	er	\$ 2	
Bass		\$ 3	
Split	t Points		
Upp	er/Lower	F#3	
Low	er/Bass	C2	
Octa	ave Shift		
Upp	er	0	
Low	er	0	
Bass		0	
Orga	an Color	≑ Red	

MIDI プリファレンス・ウィンドウ

このウィンドウに表示されているパラメーターを変更するには、パラメーター名の隣にある数値フィール ドをクリックし、表示されているドロップダウンメニューから任意の値を選択してください。 各パラメーターについての説明は次の通りです。

- MIDI Channels: マルチ・モード時のみ。アッパー、ロウワー、ベースに独立したチャンネルを設定するか、オムニ・モードとして"All"を設定することができます。(詳細についてはセクション 4.4.11.1 を参照してください)
- Split Points: 各インストゥルメント間のスプリット・モード時の境界を設定します。
- Octave Shift: MIDI ノートを異なるオクターブレンジでプレーすることができます。例えば、ペ ダルを使用したマルチ・モードでは、ベースには Octave Shift = 0 を適用し、その場合の MIDI ノートは C1 ~ C2 に反応します。Octave Shift = -1 にした場合、MIDI ノート C2 ~ C3 で同じ ピッチが反応します。(MIDI ノートに関する詳細は、セクション 4.4.12 を参照してください)

それぞれのインストゥルメントの音域は、物理的なタイプの限界を越えることはできないことにご注意く ださい。キーボードは、それぞれ4オクターブ、ペダルは1オクターブ(計 13 音)

MIDI プリファレンス・ウィンドウを閉じるには、右上の小さな"X"印をクリックしてください。

4.4.11.1 オムニ・モードと"MIDI Channel = All"

技術的な側面で言えば、オムニ・モードは"全 16 の MIDI チャンネルに反応します。"しかしその精度を高 くするためにもっとも包括的な"ALL"ラベルを設定しました。これは、Vox Continental V 内の MIDI チャ ンネル・アサインの階層を反映しています。グローバル MIDI チャンネルで始まり、ベース・チャンネル に使用可能なインストゥルメントを指定します。

このような仕組みになっています。

- グローバル MIDI チャンネルは、フィルターとして機能を設定し、いずれかの命令系統下にすべてのチャンネルを通すか、1つの特定のチャンネルをインストゥルメントに通すか設定。
- 次に、アッパー/ロウワー、ベースの MIDI チャンネルの設定。これらのインストゥルメントのいずれかが"All"に設定されている場合、そのチャンネルは残りの MIDI チャンネルに送られるすべてのデータを受信します。
- 複数のインストゥルメントが同じ MIDI チャンネルを設定した場合、類似したことが起こります。 例えば、アッパーとロウワーが MIDI チャンネル1を受信するように設定した場合、ロウワーに は何も起こりません。しかし、ベースは、他の MIDI チャンネルが設定されているようにそれが 可能です。

それは完全に理にかなっています。実際の MIDI チャンネルを使用した例が役に立つでしょう。 グローバ ル MIDI チャンネルは、この例のために"AII"に設定されていると仮定します。

- アッパーが "All"に設定されるとそれは全 16 MIDI チャンネルを受信します。これは、ロウワーと ベースを締め出します。それらは MIDI チャンネルによってアクセスすることはできません。
- アッパーが"1"に設定され、ロウワーは"All"に設定されると、アッパーは チャンネル1に対して反応し、MIDI チャンネル2~16は、ロウワーが受信します。これはベースを締め出し、他のチャンネルでアクセスすることはできません。
- アッパーを"1"、ロウワーを"2"、ベースを"All"に設定すると MIDI チャンネル1はアッパーが、2は ロウワーが、そしてその他のチャンネル(3~16)は、ベースが反応します。

上記の内容で、セッティングに関する知識を得られたかと思おいます。その他の方法で行うには、様々な セッティングで実験してください。これらが参考になることを願っています。

4.4.12 MIDI モード・タブ

外部 MIDI キーボード・コントローラーを使用する際に、マルチ・チャンネルとシングル・チャンネルを 切り替える簡単な方法があります。それは MIDI モード・タブといいます。



MIDI モード・タブ

注:以下の例ではグローバル MIDI チャンネルは"All"に設定されていると仮定します。

単純に必要とする設定に対応する MIDI モード・タブを選択します。

- Multi: これは、独立した MIDI チャンネルをアッパー/ロウワー鍵盤や、ペダルに適用します。ペ ダルが隠されている場合、ロウワー鍵盤で MIDI チャンネルを共有しています。 MIDI チャンネル の値は、 MIDI プリファレンス・メニューの中で設定しています。
- Split: たとえどの MIDI チャンネルを受信しても、すべてのインストゥルメントはそのチャンネ ル上の外部 MIDI デバイスを使用できるようになります。MIDI プリファレンス・メニューで定義 されているスプリット・ポイントの設定に応じて MIDI ノートの範囲が分散させられます。
- Bass:たとえどの MIDI チャンネルを受信しても、ベースだけが反応します。オルガン・キー ボードは、カーソルで使用できるだけです。
- Lower: MIDI チャンネル・セッティングに関係なく、どのデータでもロウワー鍵盤が反応します。
 ペダルが格納されない限り、2つのインストゥルメントはカーソルによって演奏が可能です。この場合、ベースは、受信する MIDI データよるスプリット・ポイントより下にトリガーされます。
- Upper: MIDI チャンネル・セッティングに関係なく、どのデータでもアッパー鍵盤が反応します。
 他のインストゥルメントはカーソルによってプレーすることができます。

最初の2つの MIDI モード・タブの設定について強調する点があります。:ペダルが格納された時は、その MIDI チャンネルは受信するデータに反応しません。ロウワー鍵盤でもっとも低いオクターブが、その 代わりにベースサウンドをその MIDI チャンネルでトリガーします。

また、MIDI モード・タブは、Vox Continental V に入力される MIDI データに反応する方法を決定するこ とにご注意ください。カーソルによってトリガーされる場合の違いはありません。ペダルボードの有無は、 ロウワー鍵盤がカーソルに反応する方法に唯一影響を与えます。 Vox Continental V のコントロールには、ツマミとスイッチという2つの基本的な種類があります。それ では、それぞれは見てみましょう。

4.5.1 ツマミ

ある位置から次の位置まで動かされた時にパラメーターの値を決定します。ツマミと同じ属性のコント ロールは2種類あります。

- フェーダー: Vox Continental V では、"ドローバー"と呼ばれています。
- **ロータリー**: "ノブ"や"エンコーダー"とも知られています。

ドローバーを調整するにはそれをクリックし、上下にドラッグします。ドローバーの知覚に小さなウィンドウが表われ、選択したパラメーターの現在の値を表示します。



ロータリー・コントロールでのエディット時にも同様の作用があります。同じようにノブをクリックし 上下にカーソルを動かします。これによってノブのグラフィックが回転し、小さなウィンドウに現在の 値を表示します。



4.5.1.1 調整値の単位の粗さの切り替え

通常、コントロールは、パラメーター値を粗めに調整します。しかし、高い精度によって微調整を行う ことができます。Control キーを押しながらカーソルをドラッグするか、最初に右クリックをしてから カーソルをドラッグすることで解像度が高い調整が可能です。

パラメーターをリセットする方法は、デフォルト時ではノブをダブルクリックしてください。すぐに中心 位置に戻ります。(いくつかのパラメーターでのみ対応しています)

4.5.2 スイッチ

Vox Continental V は、2 つのタイプのスイッチを有しています。単純に状態を切り替えるためには、これ らのスイッチをクリックしてください。

Bass 8' – 16' スイッチのように、オン/オフの切替えである場合もあります。



その他では、 FX でのコーラスのタイプ・スイッチなど、選択肢を切り替えるためにも使用します。



4.6 エフェクト

エフェクトの1つをVox Continental V のアウトプットに加えるためにメイン・ウィンドウの下にある"FX SLOT"の右側の矢印をクリックしてください。



A pop-up menu will show you the available FX choices:



エフェクトを選択すると、それは Vox Continental のバーチャル・フロアに現れます。

上から順に FX スロット・メニュー内のそれぞれを選択してみましょう。

最初のラベルは、Empty です。このオプションは、信号経路から FX デバイス、 FX ペダルや FX スロット・メニューを閉じ、取り外します。

ー時的に FX ユニットのサウンドを必要としない場合などは、Empty が唯一の選択方法ではありません。 どの FX デバイスにもバイパス・ボタンを備えているので、それをクリックすると 100%ドライのシグ ナルを確認することができます。赤い LED は、 FX デバイスがどの状態にあるかを示します。消灯時は FX デバイスのバイパスを意味します。 バイパス・スイッチのない唯一の FX は、WAH ペダルです。このユニットは基本的にフィルターなので、 信号経路から取り除く場合には、ペダルトップをクリックし、カーソルを奥までドラッグし、ペダルを前 方に倒すことです(ペダルを踏み込んだ状態)。ペダルは大きく開き、100%の値に達するとバイパスと 同じ状況になります。

O もう一つの方法は、すべての FX パラメーターを外付けの USB MIDI デバイスにアサインし、コント ロールする"Learn"を行う方法です。これについての詳細は"<u>設定</u>"を参照してください。

以下に各 FX デバイスついての説明を行います。

4.6.1 Flanger – フランジャー



- **Delay** ハーモニック成分に変化させるディレイ・タイムを設定します。
- **Depth** モジュレーションの深さを設定します。これはフィードバックの暴走を制限 するために 100%未満で"最大出力"になるよう設定されています。
- Rate ディレイ・タイムのモジュレーション率を設定します。
- Res. "レゾナンス"の略。激しい音、または"リンギング"サウンドを作成するために ポジティブ、またはネガティブのフィードバックを加えます。ストレートに するには"0"フィードバックに設定してください。

フランジング・エフェクトは、2つの同じ信号を合成し、信号の一方を少しだけディレイさせ、その後、 そのディレイ・タイムを調整することによって作成します。再度結合した出力は、オリジナルの信号の 周波数スペクトルを上下にスウィープさせることができます。

フランジングは、モジュレーションの RATE や DEPTH に応じで微妙だったり、極端な効果を作成する ことができます。デプスを高い値に設定するとピッチが変わります、これはアナログフランジャーの回 路がどのように動作するかをモデリングしているためです。 4.6.2 Phaser — フェイザー



Rate フェイザーのスピードを設定します。

Depth フェイザーの動作の深さを設定します。

Feedback レゾナンスの量をコントロールします。

Stereo 全体のステレオ幅を調節します。

フェイズシフターは、70年代のエレクトリップピアノで使用された最もポピュラーなエフェクターの一つでした。分割して入力した信号のドライ音をリファレンスにし、そのフェイズ(位相)を変化させる ことによって効果を生み出します。こうすることによって周波数スペクトルをすくフィルター(ノッチ フィルター)を作成します。

次に、Rate ボタンで周波数設定をオシレーターのリズムに合わせてフェイズを変更させるようにします。 フィードバックが特定のハーモニックを増幅し、Depth ボタンはフィルタリングアクションの振幅を設 定します。音質的にフェイジングは、周波数スペクトルをさまよい、揺れ、スウィープするサウンドを 作成するために使用します。

4.6.3 Chorus- コーラス



Type 3種類のコーラスタイプから選択します。

Rate コーラスのスピードを設定します。

Delay 入力信号に適用するディレイの量を設定します。

Amount コーラスの深さをコントロールします。

Mix 入力信号とエフェクト信号のバランスを調整します。

Stereo Rate ステレオ効果のスピードを設定します。

Stereo Width ステレオ効果の幅をコントロールします。

コーラスは、ほぼ同じ時間に同じ楽器を演奏し、複数の人が演奏しているように聴かせるエフェクトで す。複数でプレーした場合、若干のチューニング差が常にあるので、広がりのあるサウンドに聴こえま す。

この時の揺らぎのスピードは Rate ノブ、Amount によって振幅、幅は Delay によって設定されます。得られた周波数のぶれは、左右のトラックごとに異なります。これによりモノラル信号からステレオ信号を得ることができます。2つのトラックの違いは、 Stereo rate ノブで、 Stereo width と左右の回転速度を設定することができます。

セレクターではコーラスの種類**(Type)**の選択を simple、medium、complex.から行います。**Mix** ノブは、 入力信号とエフェクト信号間の比率を設定します。

4.6.4 Delay – ディレイ



Delay ディレイ・タイムを設定します。(ディレイはモノラルです)

LFO rate モジュレーションの速度を設定します。

Feedback フィードバックを調整します。

FB Tone フィードバック・フィルターをコントロールします。

Mix ウェット/ドライのミックスを調整します。

LFO Depth ディレイタイム・モジュレーションの量を設定します。(サイン波にした がって)

Aディレイは、より多くのスペースと深みを与え、音を繰り返します。このアナログ・ディレイは、ア ナログ・バケツリレー回路を使用したクラシカルなソリッドステート・デバイスのサウンドを再現しま す。Delay ボタンによってディレイ・タイムを 12 m sec から 1000m sec の間で設定することができま す。Feedback ボタンは、フィードバックレベルを設定します。左端の位置でソフトサチュレーション、 右端の位置でハードクリッピングを得られます。Tone ボタンは、フィードバック・フィルタリングをコ ントロールし、左へ回すとローパス、右に回すとハイパスになります。LFO rate と LFO amount の値を 調整することでディレイモジュレーションを設定することができます。Mix ツマミによってドライ/ ウェット・シグナルの比率を設定することができます。 4.6.5 Overdrive – オーバードライブ



Drive ディストーション量をコントロールします。

Output 出力レベルをコントロールします。

Tone ローパスフィルターのスウィープを設定します。

オーバードライブは信号にサチュレーションやディストーションを起こし、過激なクリッピング信号を 作ることで音を歪ませます。 Drive はサチュレーションのレベルを設定します。Tone ボタンは、ディス トーションフィルタリングをコントロールします。Output ボタンでは出力レベルを調整します。

4.6.6 Wah- ワウ



スタンダードな"ワウワウ"ペダルをエミュレートしています。ペダルの動作は、デフォルトでは MIDI CC #11(エクスプレッション)に割り当てられています。また、ペダルを操作して"ワウ"効果の周波数 帯を変更するには、ペダルをクリックして上下にドラッグしてください。

4.6.7 Leslie speaker model– レスリースピーカー・モデリング



Speed ローターのスピードを設定します:ストップ/スロー/ファースト

High Depth	高域ローターの周波数モジュレーション(ドップラー)を設定します
High Width	高域ローターのパン・モジュレーションを設定します
High Shape	高域ローターのアンプ・モジュレーションを設定します
Low Width	低域ローターのパン・モジュレーションを設定します
Low Shape	低域ローターのアンプ・モジュレーションを設定します
Rate	ロータースピードの微調整を行います
Level	出力レベルをコントロールします。

Hammond オルガンで使用されることが多いレスリー・スピーカーは、スピーカーの周りにアコース ティックホーンを回転させるモーターを使用してサウンドを円状に送り、ドップラー効果を作り出します。 キーボードの音の周波数が素早く動くので、リスナーの耳にはこのような結果となります。Vox Continental organ でレスリー・スピーカーを使用すると、新しい効果を産み出します。

High Shape と High Width は、高域ローターのパラメーターを設定します。(高音域の振幅とパン)

Low Shape と Low Width は、低域ローターのパラメーターを設定します。(低音域の振幅とパン)

Speed と Rate は、ロータースピードを設定します。

High Depth は、レスリー・スピーカーのドップラー効果をコントロールします。

Level は出力オーディオレベルを設定します。

4.6.8 Guitar amp model- ギターアンプ・モデリング



Volume	出力レベルをコントロールします
Drive	ドライブ・レベルを調整します
Reverb	スプリングの量を増減させます
Low	低域 EQ をブースト、またはカットします
Mid	中域 EQ をブースト、またはカットします
High	高域 EQ をブースト、またはカットします
Amp Type	アンプのモデルを4種類の中から選択します
Міс Туре	マイクのモデルを4種類の中から選択します

この出力オプションは、忠実にギターアンプのキャラクターをモデリングしています。初期は、レス リー以外の専用キーボード・アンプが存在しませんでした。この頃は、Vox Continental オルガンのバン ド経験者は、ほとんどのケースでギターアンプんび接続を指定ました。このモデリングは当時のガレー ジからステージに至るまで実際のシチュエーションを連想させます。

Lo、Hi、Mid ボタンはトーンを調整するときに使用します。これらのツマミは、特定の周波数帯域のエネルギーをブースト、またはカットします。

Drive ボタンは、サチュレーションのゲインを設定し、Reverb ボタンはリバーブレベルを調整します。

Cabinet オプションを指定すると、ギターアンプ・キャビネットを4種類(1x12" Blackface、2x12" Blackface、4x10" Tweed または 4x12" HalfStack)の中から選択することができます。これらの代表的な キャビネットはそれぞれ異なるキャラクターを持っています。キャビネットの左下にあるドロップダウ ンメニューをクリックすることによってキャビネットの種類を選択することができます。 Microphone は、4 種類のマイクとポジション(SM57 オンアクシス、SM57 オフアクシス、421 フロント、 87 フロント)から選択することができます。これはギターアンプに使用する一般的なマイクセッティン グのシミュレーションです。キャビネットの左上のドロップダウンメニューをクリックすることによっ てマイクのタイプを選択することができます。

5 エンドユーザー・ライセンス契約

ライセンシー料金(あなたが支払った金額の一部)を考慮し、アートリア社はライセンサーとしてあなた (被ライセンサー)に Spark Creative Drum ソフトウェア(以下、ソフトウェア)のコピーを使用する非 独占的な権利を与えます。

ソフトウェアのすべての知的所有権は、アートリア社(以下アートリア)に帰属します。アートリアは、 本契約に示す契約の条件に従ってソフトウェアをコピー、ダウンロード、インストールをし、使用するこ とを許諾します。

本製品は不正コピーからの保護を目的としプロダクト・アクティベーションを含みます。OEM ソフトウェ アによるレジストレーションの後に、使用可能となります。

インターネット接続は、アクティベーション・プロセスの間に必要となります。ソフトウェアのエンド ユーザーによる使用の契約条件は下記の通りとなります。ソフトウェアをコンピューター上にインストー ルすることによってこれらの条件に同意したものとみなします。慎重にいかのテキストをお読みください。 これらの条件を承認デキない場合にはソフトウェアのインストールを行わないでください。この場合、本 製品(すべての書類、ハードウェアを含む破損していないパッケージ)を、購入日から 30 日以内にご購入 いただいた販売店へ返品して払い戻しを受けてください。

1. ソフトウェアの所有権

お客様はソフトウェアが記録またはインストールされた媒体の所有権を有します。アートリア社はディス クに記録されたソフトウェアならびに複製に伴って存在するいかなるメディア及び形式で記録されるソフ トウェアのすべての所有権を有します。この許諾契約ではオリジナルのソフトウェアそのものを販売する ものではありません。

2. 譲渡の制限

お客様はソフトウェアを譲渡、レンタル、リース、転売、サブライセンス、貸与などの行為を、アートリ ア社への書面による許諾無しにおこなうことは出来ません。また、譲渡等によってソフトウェアを取得し た場合も、この契約の条件と権限に従うことになります。

本契約で指定され、制限された権限以外のソフトウェアの使用に興味を持たないものとします。 アートリア社は、ソフトウェアの使用に関して全ての権利を与えていないものとします。

3. ソフトウェアのアクティベーション

アートリア社は、ソフトウェアの違法コピーからソフトウェアを保護するためのライセンス。コントロー ルとし OEM ソフトウェアによる強制アクティベーションと強制レジストレーションを使用する場合があ ります。本契約の条項、条件に同意しない限りソフトウェアは動作しません。このような場合には、ソフ トウェアを含む製品は、正当な理由があれば、購入後30日以内であれば返金される場合があります。セ クション 11 に関連する主張は適用されません

4. 製品登録後のサポート、アップグレード、レジストレーション、アップデート

製品登録後は、以下のサポートアップグレード、アップデートを受けることができます。サポートは新 バージョン発表後1年間、前バージョンのサポートを提供します。アートリア社は、サポート(ホットラ イン、ウェブでのフォーラムなど)の性質をアップデート、アップグレードのためにいつでも変更し、部 分的、または完全に調整することができます。

製品登録は、アクティベーション・プロセス中、または後にインターネットを介していつでも行うことが できます。

このプロセスにおいて、上記の指定された目的のために個人データの保管、及び使用(氏名、住所、メー ルアドレス、ライセンスデータなど)に同意するよう求められます。アートリア社は、サポートの目的、 アップグレードの検証のために特定の代理店、またはこれらの従事する第三者にこれらのデータを転送す る場合があります。

5. 使用の制限

お客様は、常に1台のコンピューターで使用することを前提として、一時的に別のコンピューターにイン ストールして使用することができます。お客様はネットワークシステムなどを介した複数のコンピュー ターに、ソフトウェアをコピーすることはできません。お客様は、ソフトウェアおよびそれに付随する物 を複製して再配布、販売等をおこなうことはできません。お客様はソフトウェアもしくはそれに付随する 記載物等をもとに、改ざん、修正、リバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、翻訳な どをおこなうことはできません。

6. 著作権

ソフトウェア及びマニュアル、パッケージなどの付随物には著作権があります。ソフトウェアの改ざん、 統合、合併などを含む不正な複製と、付随物の複製は堅く禁じます。このような不法複製がもたらす著作 権侵害等のすべての責任は、お客様が負うものとします。

7. アップグレードとアップデート

ソフトウェアのアップグレード、及びアップデートを行う場合、当該ソフトウェアの旧バージョン、また は下位バージョンの有効なライセンスを所有している必要があります。第三者にこのソフトウェアの前 バージョン、下位バージョンを転送した場合、ソフトウェアのアップグレード、アップデートを行う権利 を失効するものとします。アップグレード、及び最新版の取得は、ソフトウェアの新たな権利を授けるも のではありません。前バージョン、及び下位バージョンのサポートの権利は、最新版のインストールを 行った時点で失効するものとします。

8. 限定保証

アートリア社は通常の使用下において、購入日より30日間、ソフトウェアが記録されたディスクに瑕疵が ないことを保証します。購入日については、領収書の日付をもって購入日の証明といたします。ソフト ウェアのすべての黙示保証についても、購入日より30日間に制限されます。黙示の保証の存続期間に関す る制限が認められない地域においては、上記の制限事項が適用されない場合があります。アートリア社は、 すべてのプログラムおよび付随物が述べる内容について、いかなる場合も保証しません。プログラムの性 能、品質によるすべての危険性はお客様のみが負担します。プログラムに瑕疵があると判明した場合、お 客様が、すべてのサービス、修理または修正に要する全費用を負担します。

9. 賠償

アートリア社が提供する補償はアートリア社の選択により(a)購入代金の返金(b)ディスクの交換のい ずれかになります。お客様がこの補償を受けるためには、アートリア社にソフトウェア購入時の領収書を そえて商品を返却するものとします。この補償はソフトウェアの悪用、改ざん、誤用または事故に起因す る場合には無効となります。交換されたソフトウェアの補償期間は、最初のソフトウェアの補償期間か 30 日間のどちらか長いほうになります。

10. その他の保証の免責

上記の保証はその他すべての保証に代わるもので、黙示の保証および商品性、特定の目的についての適合 性を含み、これに限られません。アートリア社または販売代理店等の代表者またはスタッフによる、口頭 もしくは書面による情報または助言の一切は、あらたな保証を行なったり、保証の範囲を広げるものでは ありません。

11. 付随する損害補償の制限

アートリア社は、この商品の使用または使用不可に起因する直接的および間接的な損害(仕事の中断、損 失、その他の商業的損害なども含む)について、アートリア社が当該損害を示唆していた場合においても、 一切の責任を負いません。地域により、黙示保証期間の限定、間接的または付随的損害に対する責任の排 除について認めていない場合があり、上記の限定保証が適用されない場合があります。本限定保証は、お 客様に特別な法的権利を付与するものですが、地域によりその他の権利も行使することができます。

Kiss FFT ライブラリーを含む著作権は、Mark Borgerding(© 2003-2010) が保持しています。 以下の条件が満たされた場合のみ変更の有無に関わらず、ソース、及びバイナリー形式での再分配を許可されています。

- ソースコードの再配布は、上記の著作権表示、本条件一覧、及び以下の免責事項を保持しなければなりません。
- バイナリー形式で再配布を行う場合、上記の著作権表示を複製、表示しなければなりません。この条件のリスト、及びドキュメントや再配布で提供されるその他の物に次の免責事項を複製する必要があります。
- 著者、寄稿者の氏名も特定の書面による許諾なしにこのソフトウェアに由来する製品を推奨、宣伝するために使用できません。

本ソフトウェア、著作権保持者および貢献者によって「現状有姿」で提供され、商品性および特定目的適合性の黙示の保証を含む(ただしこれらに限定されない)いかなる 明 示または黙示の保証も放棄されます。著作権保持者または貢献者は、本ソフトウェアの使用により生じる直接的、間接的、偶発的、特別的、懲罰的、または結果的な損害(代 替の商品もしくはサービスの調達、使用機会、データ、もしくは利 益の損失、または業務の中断を含むただしこれらに限定されない)に対し、どのような原因によろうと、ま たいかなる責任の理論上であれ、契約、無過失責任、不法行為(過失またはその他を含む)を問わず、そのような損害の可能性について言及されていたとしても、一切の責任 を負わないものとします。

50